

ご卒業
おめでとーございませう

日本工業大学後援会 会報 第 89 号

発行 / 日本工業大学後援会
 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台四一
 一〇四八〇(三)三四一四二(代)
 平成二十四年三月十五日
<http://nikkouenkaigi.jp/>

さらなる発展へ



会長 出井 栄一 (M4埼玉)

長かった寒い冬も過ぎ、桜の開花予報が聞かれる季節となりました。今日この頃、会員の皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

大震災、大津波、原発事故、風評被害といった災害をもたらした「東日本大震災」から早一年が経ちました。被災地では、復旧や復興に取り組んでおられ、今までの以上に支援を必要としています。今後とも、被災者のために皆様と一緒に力を出し合っ行ってこうではありませんか。

本年度の後援会の事業は、全て順調に推移し、滞りなく終了することができました。これもひとえに会員の皆様のご理解とご協力のお蔭であります。心より厚く御礼申し上げます。

特別事業では、ピザリアトレビ(第二食堂)のリノベーション工事として、混雑緩和のための増席(約50席)を目的に屋外デッキ

上にテント屋根を設置。併せて空調機を更新、厨房・ホール・什器類を改装したことにより学生諸君から大変喜ばれております。

ご卒業を迎えられたご父母の皆様、心よりお祝い申し上げます。また、新入学生は希望に胸を膨らませていることと思います。

本会では、支部主催による入生とご父母を対象とした「新入会員説明懇談会」を各地で開催しております。本部主催としては、入学式終了後、本会の新入会員となられますご父母の皆様へ「日本工業大学後援会」をご理解いただく「会」を開催いたします。

5月には、本会の総会を大学において開催し、事業報告や決算の承認、新年度の事業計画や予算案の審議、役員改選等を行います。何れの会合にも皆様のご参加を心よりお待ちしております。

これからも、わが子が通う大学の益々の興隆・発展を願うと共に、大川理事長先生、柳澤前学長先生、波多野新学長先生をはじめとする教職員の皆様方の後援会活動に対するご厚情に心から感謝申し上げます。次第です。

結びに、本会役員・理事並びに支部役員の日夜の活動に敬意と感謝を申し上げます。

心の通う学びの場を目指して

学長就任のごあいさつ



日本工業大学後援会の皆様、昨年12月20日に、柳澤章前学長の後を承けて、学長に就任いたしました。まだまだ不慣れですし、行き届かないことも多いと思えます。なにとぞよ

ろしくご指導のほど、お願い申し上げます。

私は、昭和45年に、建築学科の助手として、本学に奉職いたしました。第1期の卒業生が昭和46年卒ですから、すべての卒業生とつきあってきたこととなります。

着任当時は、田圃のど真ん中にぼつりと大学がある状態でした。本館から製図室に行くのに長靴に履き替えざるを得ませんでした。霜柱が溶け、ぬかるんで歩けないからです。

学長 波多野 純

波多野 純 (はたの じゅん) 学長のプロフィール (昭和21年12月3日生・65歳)

【学歴】		
昭和45年 3月	東京工業大学理工学部建築学科	卒業
【学位】		
平成元年12月	工学博士 (東京工業大学 工第1652号)	
【職歴】		
昭和45年 4月	日本工業大学工学部	建築学科助手
昭和52年10月	同	上 建築学科講師
昭和61年 4月	同	上 建築学科助教授
平成 3年 4月	同	上 建築学科教授
平成 9年10月	同	上 建築学科主任 (～平成11年9月)
平成14年 4月	同	上 建築学科主任 (～平成16年12月)
平成17年 1月	日本工業大学	教育研究推進室長 (～平成22年3月)
平成21年 4月	日本工業大学工学部	生活環境デザイン学科教授 (現在に至る)
平成22年 4月	日本工業大学	教務部長 (～平成23年12月)
平成22年 5月	日本工業大学	英語教育センター長 (現在に至る)
平成23年12月	日本工業大学	学長 (現在に至る)
【学園役員歴】		
平成18年 4月	学校法人日本工業大学	評議員
平成23年12月	同	上 理事 (現在に至る)
【賞罰】		
平成10年	日本建築学会賞 (業績)	共同
平成10年	建築史学会賞	

そんな初期の状態からは、今の美しいキャンパスはとも想像できません。「グリーン・アンド・グリーン・キャンパス」活動をはじめ、後援会の皆様の、ひとかたならぬご助力があつて、学生・教職員ばかりでなく、オープンキャンパスで訪れる高校生にとっても魅力的なキャンパスが生まれました。心安らぐ学びの場です。心からお礼申し上げます。

学生たちは、在学中に成人式を迎えます。つまり、心身が大きく変化し成長する時代を、大学で過ごします。当然、様々な悩みを抱えます。挫折から立ち直れない学生もいます。しかし、地域別教育懇談会でご父母の皆様とお話しし、それを糸口に教員と親しくなり、立ち直った学生も大勢います。あるいは、海外短期留学など、こんな学びのチャンスもあるとお話しし、ご理解が得られた結果、大きく成長した学生もいます。大学院への進学も、ここで固まることが多いようです。

大学は、学生と教職員さらに保護者の皆様も含めた、心を通わせる交流の場です。様々な機会に、皆様と親しくお話ができることを楽しみにしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

支部だより

後援会の絆

栃木県支部長
高橋 佳男 (A4)



早春の候、卒業まで余すところあとわずかとなりました。ちょうど一年前の3月11日に東日本大震災が発生し、地震・津波・原発事故により被災されました多くの方々

に心よりお見舞い申し上げます。4年前の今頃、栃木県支部主催の新人会員説明懇談会に、入学する息子と一緒に参加した事を思い出します。この時に役員をやってもらえないかとお誘いいただき、軽い気持ちで引き受けたのが後援会との関わりの始まりでした。

そして昨年より支部長を仰せつかり、又本部署として現在に至っております。実は日工大には平成14年から4年間、長男が、平成20年から二男がお世話になっており、累計8年間在籍していたことになりました。

栃木県支部は、会員数約360名と全国で2番目に大きな支部で、支部活動は主に県中央の宇都宮で行なっております。主な支部

事業としては、5月に支部総会、9月に地域別教育懇談会、3月に新入会員説明懇談会を行なっております。これら事業の計画実施運営のために、計画的に支部役員会を開催し、役員全員で一致協力し、明るく楽しく活動しております。

これら事業には工友会(同窓会)にも参加いただき、先輩からのアドバイスや就職情報の提供などを行なっていたいただき、また学生の参加も積極的に推進しております。

支部活動の中でも最大の事業である地域別教育懇談会では、会員ご家族・学生と学科担当の先生との個別面談、面談待ち時間を利用して、大学および工友会より教員・就職支援等に関する講演をいただき、大変有意義な懇談会となっております。参加された会員の方から「勉強の状況もわかったし、いろいろ相談できて本当に良かった」とおっしゃって頂いた時は、安堵感と教育懇談会の重要性を改めて認識しました。これも役員全員のご協力と、少しでも多くの会員に出席して頂くため創意工夫したおかげと感謝申し上げます。

これまでの活動の中で、最も印象に残っているのは、昨年の新入会員説明懇談会です。3月13日(日)実施に向けて、準備を全て完了した矢先の3月11日(金)に東日本大震災が起こりました。私は東京の勤務先で震災に遭い、昨年の支部長共々帰宅難民となりました。日工大を卒業した長男の息子の勤務先まで徒歩で迎り着き、合流してそこで一泊させてもらいました。その会社では、休憩室、非常食と飲料水を提供いただき、非常事態への備えに感心すると同時に、お世話になったことを大変感謝しております。

その後、東京を4時間歩き翌日の夜遅くに栃木にたどり着きました。その間、電話・メールがなかなか繋がらない中、必死の思いで役員、会場、大学、工友会と連絡調整して延期を決め、参加予定者への連絡に奔走しました。

説明懇談会は1ヶ月後に改めて開催することができましたが、ひとえに役員の皆様、関係先の皆様との連携とご協力に感謝するとともに絆の大切さをかみしめました。この8年間、後援会での出会いを通じ、理事長先生、学長先生、



栃木県支部主催地域別教育懇談会にて

先生方、工友会の皆様、後援会事務局の皆様、全国の理事の皆様、そして支部の皆様と意見交換と懇親を深めることが出来ましたことは、私にとっかけがえのない財産となりました。息子もこの卒業を迎え社会人となりますが、この様な機会を与えていただいた大学、そして後援会の皆様に感謝申し上げます。

最後になりますが、日本工業大学のすばらしいところは、他の大学にはない、大学と後援会が強力に連携して共に発展させているところだと思えます。これからも日本工業大学と後援会が益々発展されることを心よりお祈り申し上げます。後援会事務局の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

後援会と共に成長を

前西中国支部長
岡崎 勝雄 (M4)



後援会との出会いは、「西中国支部支部長」からの「このたびは、ご息様のご入学おめでとうございます。」と予期せぬ1本のお祝い

の電話から始まりました。あれから早いもので4年の歳月が過ぎようとしております。この4年間には数々の思い出がありますが、中でも一番印象深い行事は「地域別教育懇談会」です。

我が子が1年生の時は、学科担当の村田教授より「成績表の見方から秋学期の効率的な科目の取り方」を親切丁寧に教えて頂きました。また、我が子の学園活動状況に於いても、わかる範囲での状況報告を頂き、「情報の少ない親」としては大変嬉しいかぎりでした。村田教授は、プラスチック加工を専門としており、私の勤務している会社とのつながりもあつたようで、その話題にもかなりの熱が入っていたような気がします。

その2年後、私が支部長を務めた年(2010年度)に山口県で教育懇談会を開催致しました。大学より柳澤前学長をはじめ各学科



地域別教育懇談会終了後、瑠璃光寺五重の塔(国宝)拝観後記念撮影

の教授、事務局そして後援会本部役員の方々に参加して頂き、誠にありがとうございました。

当日は、個人面談の待ち時間を利用して、学長を囲んでの談話を楽しんで頂きました。また学長自ら、個人面談を終えた親に対して、成績表を基に「特別指導」をして頂くというサプライズもあり、ひととき違った懇談会となりました。父母の反響としては、「学長」との距離が身近に感じられて大変良かったと大好評でした。「地域別教育懇談会」は、担当学科教授から直接「生の声」が父母に届けられるということ、[「大学」と「学生家庭」との間の距離が縮まり、身近に感じ取られたのではないかと思います。「大学」・「後援会」共に、行事の中で一番、重要なものであることは言うまでもありません。ご子息・ご令嬢の学科の教授より「生の声」が聞けるというのも、この会が催されるからこそだと思います。ここで得られた情報は、ご子息・ご令嬢に対する「アドバイス」に大いに役立ちます。そして、親も一緒に成長できる貴重な情報源となることでしょう。

4年間はあつという間で、「長く短い期間」でしたが、私も「後援会」を通して色々と経験させて頂き勉強させて頂きました事を感じ謝しております。「後援会」のさらなる発展とご活躍をお祈りいたします。

「後援会」は「広縁会」!

前新潟県支部長

石黒

尚(C4)



土日に仕事をしている関係で、今まで子供にしてやれる事が少なかったため、その罪滅ぼしに、最後の大学ぐらいは子供の為にと支部役員を引き受けました。

そんな私が後援会活動に引き込まれたきっかけになったのが、一年生の地域別教育懇談会の時でした。ちょうど柳澤学長、後援会会長、役員のお誘いをくださった小笠原顧問が臨席されており、トップのメンバーばかりで緊張した事を覚えています。

そんな中、当時の支部相談役の方と話をすると、私の実家の家業の取引先で、非常に近い存在である事にお互い驚くと同時に、急に親近感が湧いてきたのを思い出します。

その後の二次会のカラオケ店で、皆さん飲んで歌って楽しくやっている中、暗い部屋の隅っこで一人ポツンとしていると、相談役から学長に紹介され、その後は学長と相談役に挟まれて「支部長の役を必ず受ける。絶対に子供の為

になるから。」と半ば脅迫的に説得されました。

これも何かの「縁」なのかと諦めるとともに、学長、相談役、先輩役員の気さくな人柄をすごく感じると同時に、なぜ皆さんこんなに気さくな人達ばかりなんだろうと不思議に思ったくらいです。

その後も後援会の活動の中でたくさん「縁」に出会う事ができました。それがどんどん広がって行った事を実感しています。おそらく、先輩方もそういった「縁」を感じ、それを後輩に繋げて行く、そういう思いで活動をされていたのでは、と思います。皆さんの気さくな人柄も自然とそのような雰囲気から生まれたもので、後援会の活動の中で脈々と受け継がれてきたのだと感じています。

私たちが会員は、子息が日工大の学生だと云う一つの繋がりがありません。それだけでも大きな「縁」がある訳ですから、「大学生なんだから、全て子供に任せてある」などとおっしゃらずに後援会の活

動等に参加して、色々な「縁」を探してみたいかがですか。そしてまた、その「縁」を広げて頂くのであれば願っております。それがきつと子供達の為に必ず役立って、また御自身の財産になって行くものと信じています。

私も、この四年間で出会った「縁」を大切に、今後の人生の宝として広げて行きたいと思っています。

平成24年度新入会員説明懇談会

左記の日程にて、支部主催による「新入会員説明懇談会」が開催されました。

支部の先輩会員の温かい歓迎

秋田県支部総会が開催されました

2月18日(土)、秋田市の第一会館本館において秋田県支部総会が開催され、出井後援会会長、藤田総務部長が臨席しました。

なお、支部長には佐々木定勝氏が再任されました。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

と、大学側の詳しい説明を受けた新入会員の皆様からは、「参加して良かった」、「不安が解消できた」との感想をいただいております。



赤倉山荘での支部総会終了後
妙高高原のいもり池にて

●平成24年度新入会員説明懇談会開催一覧●

開催日	主催支部	開催会場	大学側出席者
2/18(土)	青森	青森国際ホテル	穴井正洋 教務課員
〃	秋田	第一会館 本館	藤田則夫 総務部長
2/19(日)	岩手	北上市さくらホール	塩入 修 就職支援課員
〃	千葉	学友会館	初見範子 就職支援課長 江原里織 学生支援課員
〃	北陸	富山電気ビルディング	鈴木良裕 学生支援課主任
3/4(日)	近畿	尼崎市小田公民館	江原慎一 経理課員
〃	東海	安保ホール	日下部恵美子 教務課主任
〃	長野	ホテルブエナビスタ	一丸敬典 総務課員
〃	新潟	アトリウム長岡	栗本 収 教務課長
〃	福島	清陵山倶楽部	大塚竹郎 総務課主任
〃	茨城	筑西三の丸ホテルダイヤモンドホール	吉見健二 学生支援課長 鈴木史朗 経理課員
〃	蔵王	パレスグランデール	齊藤 望 入試室長補佐・入試室主任
3/10(土)	沖縄	沖縄県青年会館	川島信也 入試室主任
3/11(日)	群馬	高崎ビューホテル	川村真司 教務課主任 森戸秀幸 総務課員
〃	栃木	ホテル丸治	吉見健二 学生支援課長 宮本智子 教務課員
〃	山梨	ホテル春日居	磯 雄二 用度・管財課長
3/17(土)	静岡	静岡県男女共同参画センターあざれあ	林 祐司 総務課長 山本好央 用度・管財課員

～四年生のご父母の皆様へ～

日本工業大学卒業アルバム委員会では毎年「卒業アルバム」を製作しています。各学科、各研究室のページや一年次からの学内風景、学生行事のページがあり、非常に見ごたえのある内容となっております。一生涯の思い出に残る大学生活の記念としてご購入いただけますようお願い申し上げます。全頁フルカラーで価格は送料込みで八千円です。

【お申し込み方法】

お申し込み方法は、次の二通りがございます。

●既に当委員会から「ご子息・ご息女様に配布している振込用紙にて申し込む。

●直接下記連絡先に問い合わせをしていただき、振込用紙を取寄せてご両親様が申し込む。
※いずれの場合も「ご子息・ご息女様とご相談頂き、「同時申し込み」にならないようお願いを付け下さい。

【お申し込み締め切り日】

平成24年3月30日（金）

【お渡し方法】

卒業アルバムは、お申し込みの際、振込用紙にご記入していただいた住所に郵送いたします。



後援会行事抄

平成二十三年十一月二十日（水）

後援会会報88号発行

十二月四日（日）第28回吹奏楽団

定期演奏会

十二月四日（日）～五日（月）宮

代会臨時総会（戸倉上山田温泉）

十二月十六日（金）～十八日（日）

エコプロダクツ2011に出展

（東京ビッグサイト）

十二月二十日（火）波多野純教授

が新学長に就任

十二月二十二日（木）学長・副学

長退任および新学長就任式

平成二十四年一月八日（日）大

学・後援会・工友会・宮代会合

同新春懇親会（ウエスティンホ

テル東京）

一月十二日（木）成人式記念講演

会（学友会館）

二月十八日（土）青森県支部新入

会員説明懇談会（青森国際ホテ

ル）、秋田県支部総会・新入会

員説明懇談会（第一会館 本館）

二月十九日（日）岩手県支部新入

会員説明懇談会（北上文化交流

センターさくらホール）、千葉

県支部新入会員説明懇談会（学

友会館）、北陸支部新入会員説明

懇談会（富山電気ビルディング）

二月二十二日（水）～三月一日

（木）学内合同企業説明会（計

187社）

二月二十五日（土）サービスセン

相談票

学科学年		
学籍番号		
生 氏 名	員 名	TEL
学 氏 名	会 氏 名	
連絡先		

相談票をご利用下さい

後援会では会員各位にこの相談票を通して、いつでも学生の成績・生活・就職等のご相談に応じられる窓口を開いています。右の票（便箋、ハガキでも結構です）に相談されたい事項や、ご意見、ご希望等をご記入の上、事務局宛にご送付下さい。可能なかぎり回答します。
（ご意見・ご投書・ご寄稿もどうぞしお寄せください。（事務局）

ター連絡協議会、天満宮例祭

二月二十六日（日）役員会、理事

会、特別事業委員会

三月四日（日）近畿支部新入会員

説明懇談会（尼崎市小田公民

館）、長野県支部新入会員説明

懇談会（ホテルブエナビスタ）、

新潟県支部新入会員説明懇談会

（アトリウム長岡）、福島県支部

新入会員説明懇談会（清稜山俱

楽部）、茨城県支部新入会員説

明懇談会（筑西ダイヤモンドホ

ール）、東海支部新入会員説明

懇談会（安保ホール）、蔵王支

部新入会員説明懇談会（パレス

グランデール）

会員の皆様へ（ご子息・ご息

女にお伝えください）

正保証人のご住所が変更になつた場合は、学生支援課に届け出をお願いします。